

講 義 要 項

授業科目		成人期の地域保健		担当者	松下 三千代
区分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後
	1 単位	30 時間	講義・シミュレーション演習・GW		1年次・後期
授 業 目 標					
成人期の健康問題を身体的・社会的・精神的・霊的側面から理解し、病状の悪化を予防すると共に、保健予防のための生活習慣の改善や健康増進の支援を行うための看護の方法や技術について習得できる。					
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
1. 保健予防と健康増進事業	1. 成人保健の意義と看護の役割について理解することができる。 2. 成人期の健康維持・健康増進のための保健対策について述べるができる。	1. 成人保健の動向 2. 療養環境の変化と看護師の役割 3. 成人保健活動とは 4. 成人保健活動の意義・目的 5. 生活習慣病の予防と健康教育 6. 地域保健対策 7. 職業生活と健康障害への援助 8. 生活習慣病以外の疾病と対策	6		講義
2. 障がい支援の制度・医療・福祉		1. 我が国の社会保障制度 1) 社会保険 2) 社会福祉 3) 公衆衛生及び保健医療 4) 公的扶助 2. 保健・医療・福祉制度 1) 医療保険制度 2) 介護保険制度 3) 障がい者総合支援法 4) 老人福祉法 5) 難病に関する制度 3. サポートグループとセルフヘルプグループ 4. 紙上事例で学ぶ社会資源の活用	8		講義 シミュレーション演習
3. 地域・在宅への継続医療と看護	1. 成人期の健康問題と解決のために必要な援助について考察することができる。 2. 疾患を持ちながら地域で生活する人を支える専門職、チーム医療、多職種連携について述べるができる。	1. インフォームドコンセントと意思決定を支える援助 2. セルフマネジメントを促すための継続的支援 3. 看護実践における人権擁護および倫理的問題への関り 4. 専門職とチーム医療	6		講義
4. 学習支援	1. 学習支援の目的について理解することができる。 2. 学習支援の過程を理解し計画を立案することができる。 3. 学習支援を実施し、評価することができる。	1. 治療・療養行動に関わる主な理論・概念 1) セルフケア 2) セルフマネジメント 3) セルフエフィカシー 4) エンパワメント 5) 健康信念 6) トランスセオリアルモデル 7) コンプライアンスとアドヒアランス 8) 病みの軌跡 2. 成人患者への教育的アプローチ 3. 学習支援の進め方 1) 指導の過程 2) 各指導の家庭における留意点 ・個別指導 ・集団指導 ・訪問指導 4. 学習支援計画立案の作成と実施・評価	9		講義 グループワーク
		修得試験	1	1	

参 考 文 献 等	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ, 成人看護学(1), 成人看護学総論, 医学書院. 2. 国民衛生の動向, 厚生労働統計協会.
評 価	1. 単位修得試験・出席状況・課題提出状況・GW参加状況・受講態度
備 考	実務経験：看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。